

第11回系統別（検修）意見交換会開催！！



6月18日に第11回系統別（検修）意見交換会を開催し、12名の参加者で議論を行いました。

①職場活動の強化に向けてでは、冒頭、田崎組織研修部長より豊田運輸区で発生した人間破壊の強制転勤について提起を頂き、議論を行いました。参加者からは「人が苦しんでいるのを見てもあそんでいる」「許すべきではない」「会社を辞めさせたいという意思が見える」など、多くの怒りの声が出されました。各職場でも引き続き討議資料等を活用しながら議論を行い、檄の取

り組みや情報作成を行っていくことを確認しました。

さらに各職場の実態では、「鉄道妨害の可能性のある事象についてもヒューマンエラーと決めつけている」「CS会議が現場の声を聞くものになっていない」「新入社員がそもそも入ってこない」「マイプロの締め切りに間に合わせるために別の科から応援に行っている。本末転倒」など、多くの課題が出されました。安全議論をつくることができるのはJR東労組のみであり、各地や各職場から、安全議論をつくりだしていくことを確認しました。

②組織強化・拡大に向けてでは、夏季手当について本部見解を読み合わせ、議論を行いました。参加者からは「要求満額を職場みんなで求めている。少ない」「私たちの努力が還元されていない」「区長に話をしたが、ボーナスを多く出して会社が潰れたら困るでしょ」と言われた」という多くの怒りや不満の声が出されました。また「要求からすると少ないが、5万円は要求を続けてきたからこそその成果」「社友会の人から組合はよくやってくれたと言われた」「再申し入れて危機感を感じ、多くの未加入者にアンケートの取り組みについて話をしてきた」など、たたかいにおける成果や参加者の実践についても出し合いました。私たちは、会社に幻想を抱かず、更なる組織強化・拡大を実現するために、参加者一人ひとりが職場で実践していくことを確認しました。

労働者を大切にしない会社姿勢を許さない！！職場から安全議論をつくり出そう！！

